

科目名	絵画Ⅳ－１（静物画）			科目コード	1018
開講学科	美術学科	単位数	4（計）	形態	実習
教員名	家始繁光				
授業の目的及びテーマ					
慣習的でパターン化した主体性のない制作でなく、自分の考えたこと、イメージを具体的に定着させる想像力～創造力への柔軟な力を養う。各自に適した表現方法及び表現マテリアルの認識。					
授業概要					
絵画は具象・抽象にかかわらず、形態・色彩・空間で成り立つ平面（二次元）表現ですが、ここでは遠近法、明暗法、質感表現を重視した具象（再現的描写）による表現ではなく、セザンヌによって解体、再構成、図式化され、さらにキュビズムによる画面上での造形的操作に端を発する「抽象への道」を顧みながら、純粋な色と形、マチュールといったもののだけで独自の美しさを創造することを問題とする抽象的（非再現的）アプローチでの制作を試みます。具象的に発想して抽象的に表現する（様々な静物のフォルムを基に）					
授業計画					
「一日目」 ・制作に関する全般的な解説 ・各自のモチーフを選択する ・エスキース制作（三枚程度） ・キャンパスに下書き ・下塗り～中塗り 「二日目」 ・終日制作 「三日目」 ・制作 ・合評					
テキスト	「絵画実習Ⅱ」		参考文献		
評価方法：					
通信授業は提出課題を以って評価する。（学習指導書参考） 面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。					